

ハーモニー

日本養護教諭教育学会
第22号 2000年5月31日発行

日本養護教諭教育学会

事務局：〒310-8512
水戸市文京2-1-1
茨城大学教育学部
TEL029-228-8298
(Fax兼用)
振替口座：00880-8-86414

目次

| | |
|----------------------|---|
| 理事長あいさつ | 2 |
| 前理事長あいさつ | 2 |
| 新理事・新編集委員紹介 | 3 |
| 第8回学術集会のおさそい | 4 |
| 第8回学術集会開催案内 | 4 |
| 意見募集！『養護教諭』の英訳表現について | 5 |
| 学会誌第4巻の投稿原稿募集 | 6 |
| 研究助成金申請者の募集 | 6 |
| 理事会などの活動報告 | 7 |
| ハーモニー新企画の募集について | 8 |
| おしらせ | 8 |

ごあいさつ

本学会のこれからを思う

理事長 大谷 尚子 (茨城大学)

昨年の総会で新理事が承認されましたが、互選により、私が理事長を担うことになりました。これまでも堀内久美子理事長のもと理事の任務についておりましたが、堀内理事長のリーダーシップがあつてのことであり、その責務の重大さに身が引き締まる思いであります。学会発足の準備世話人時代から共に任を担っていた中桐理事も同時に退任されましたので、一層心細さが募ります。ここは自らを奮い立たせて、本学会の発足趣旨と経緯を尊重しながら、会員とともに会の発展に力を尽くしていきたいと思っています。会員の皆様、どうぞよろしくお祈りいたします。

本学会は前身の全国養護教諭教育研究会、さらには日本学校保健学会共同研究時代と、長い経緯があるのですが、学会誌創刊号に堀内理事長(当時)が紹介しておりますので、詳細はそれをご覧ください。私は、以下に「日本養護教諭教育学会」という名称を説明しながら、以下のように本学会の展望を概観してみようと思います。

「日本」: 前身は「全国」と冠していた。当時はバラバラな養成機関を組織することを主眼としていたが、今は「国際化」時代を意識した表現になっている。

「養護教諭」: これは全く変更なし。

「教育」: 発足総会時には「養成教育」という言葉の検討も行ったが、教員の育成はtrainingではなくeducationであるということ、力量形成・自己教育を含み現職教育をも含む「教育」という言葉の方を選択した。

「学会」: 初めは「研究会」と称していたが、養護教諭の力量形成に向けて学術研究を深め、知識体系化をはかることを目的とすることをより鮮明にして、世に高らかに宣言した。

皆様に支えられた8年間

前理事長 堀内久美子

(前 愛知教育大学)

このたび、学会の代表を、大谷尚子新理事長へ引き継ぐことになりました。前身である「全国養護教諭教育研究会」設立(1992年)以来8年間、養護教諭教育の研究を会員・役員の皆様と共に推進してきました。皆様のお力により、1997年4月から学会に発展させることができ、学会の事業(学術集会開催、学会誌発行、「ハーモニー」発行、研究助成)もほぼ順調に行うことができました。また、事業を支える運営の面も、会員の増加により財政基盤が安定するなど、軌道にのりました。

顧みますと、本学会設立のひとつの底流となった「日本学校保健学会『養護教諭養成教育のあり方』共同研究班」の世話人として、1985年から研究組織の運営に携わってきました。15年間に及ぶ活動の中で、多くの研究仲間との出会いがあり、研究の広がりや質的向上に深く関わることができたことをこの上なく幸いに思っています。

学会としての課題はなお今後に継続しています。研究の推進に加えて、運営の面でもより学会らしくしていく必要があるでしょう。養護教諭の力量向上は社会からの要請でもあり、実践と理論の相互交流を通して、力量向上のための学問的基盤を確立することが、学会という組織に求められています。経験豊かな新理事長そして年齢も地域もバランスのよい新役員の皆様のチームワークに期待していますし、同時に、構成員一人ひとりの努力が必要だと感じます。私も一会員として加わっていききたいと思います。



新理事・新編集員の自己紹介と抱負

理事 石原 昌江

(岡山大学教育学部)

機関紙「ハーモニー」を担当させていただくことになりました。私たちの学会として養護教諭教育に関する研究や実践を、積極的に情報交換していけるようにしていきたいと思っております。

理事 後藤 ひとみ

(北海道教育大学旭川校)

これまでの「研究」を「研究活動」に改め、担当の理事になりました。目標は、会員による研究活動の活性化と学会全体の研究の質的向上です。ご意見・ご要望をお待ちしております。

理事 楠本 久美子

(四天王寺国際仏教大学短大部)

2期目の理事を務め、会計を担当いたします。会費は無駄のないよう、有意義に活用させていただきますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事 下村 淳子

(愛知教育大学附属高等学校)

庶務を担当しています。今期は今まで以上に現職養護教諭の皆様の声学会に伝えていきたいと思っております。会員の力量向上を目指し、ともに学びあえる学会にしたいと思います。

理事 村瀬 久美

(愛知県立加茂丘高等学校)

2000年度より新しく理事となり、「ハーモニー」の担当をさせていただくことになりました。養護教諭に関する最新の情報や全国の会員の活躍を紹介していきたいと思っております。

理事 盛 昭子

(弘前大学教育学部)

編集委員長として、学会誌の編集・発行に関わらせていただきます。本学会の研究のあり方や実践の根拠となる理論が明らかにされ、会員の実践を支え得る学会誌を！と願っています。

編集委員 中桐 佐智子

(吉備国際大学)

編集委員として、頑張ります。広く会員に支持された学会誌になるように、投稿を待っています。

編集委員 竹田 由美子

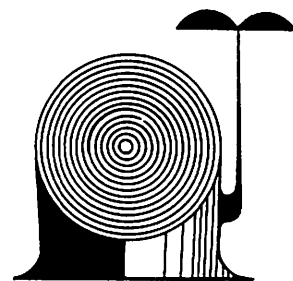
(神奈川県立衛生短期大学)

理事会や各委員会の決定事項が学会誌に反映されているかを違った視点から意見を述べて学会誌が質・量ともに充実できるよう頑張りたい、そんな抱負で編集委員にデビューします。

編集委員 浅利 恵子

(弘前大学教育学部附属養護学校)

昨年度は学会誌の編集という大役を果たせるかとても心配でした。今年度は昨年の経験を生かし充実した第4巻の発行へ向け努力したいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします



日本養護教諭教育学会

第8回学術集会へのお誘い

実行委員長 松嶋紀子
(大阪教育大学)

2000年の記念すべき年に、第8回学術集会在大阪で開催されますことは、この上ないよろこびです。

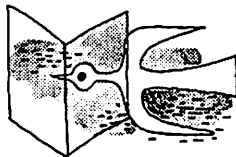
今年はまだ、免許法が改正されて、「健康相談活動の理論及び方法」などが新設され、「養護教諭の新たな役割」が果たせるように、養成のカリキュラムが新しくなりました。一方学校現場では、いじめ、不登校、生活習慣のみだれなどへの対応はもちろんのこと、「保健」あるいは「総合学習の時間」が新設されるなど、新しい学習指導要領への移行に伴う学習指導面で、養護教諭にさらなる協力が求められ、いまや養護教諭には、相当広範囲でかつ専門的な対応能力が必要とされるようになりました。

この時期に、そろそろ「養護学」について考えてみたいということで、まずはじめに、これまで永年にわたり暖めてこられたお考えをお聞きしたく、シンポジストの先生方をお願いしました。本学会の産みの親であり、育ての親のお一人の堀内久美子先生には基調講演をお願いしています。

特別講演は、私たちの最大の関心事であります「いじめ・不登校の克服」について、大阪市立大学教授森田洋司先生をお願いしました。先生は社会学者の立場から、分析や考察をされます。養護教諭に必要なことをしっかりお話しくさるでしょう。

一般口演にたくさんのご応募をお願いします。申込票は、3月に発行された学会誌の174ページにとじ込んであります。

当日は第2土曜日です。是非みなさんお誘い合わせの上ご参加ください。



第8回学術集会のご案内《第2報》

1. 期 日 2000年9月9日(土曜日)
2. 会 場 アウィーナ大阪(上本町)
TEL 06-6772-1441(代表)
3. メインテーマ
「21世紀の養護教諭像を求めて」
4. 日程 8:30~17:00
 - 1) 基調講演 9:00~
演題 「21世紀の養護教諭像を求めて」
講師 堀内久美子(前愛知教育大学)
 - 2) シンポジウム
テーマ 「養護学の確立をめざして」
座 長 徳山美智子(大阪府立桜塚高等学校)
養成の立場から 大谷 尚子(茨城大学)
養成の立場から 近藤 文子
(兵庫大学短期大学部)
現職の養護教諭の立場から 辻 立世
(大阪府立鳥飼高等学校)
管理職の立場から 福山 勇
(元大阪府立桜塚高等学校)
 - 3) 特別講演 13:00~
演題 「心の時代の教育
-いじめ・不登校の克服にむけて-」
講師 森田 洋司
(大阪市立大学文学部教授)
 - 4) 学会研究班発表 14:30~
 - 5) 一般口演
6. 研究発表及び参加
 - 1) 学会員のほか、当日会員の参加も歓迎します。
 - 2) 発表者及び共同研究者は本学会の会員に限ります。
 - 3) 研究発表の演題申し込み 6月19日(月)(必着)まで
7. 第8回学術集会についてのお問い合わせ
〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3-2-1
四天王寺国際仏教大学内
日本養護教諭教育学会第8回学術集会事務局
TEL 0729-56-3181(代表)
事務局長 楠本 久美子

ご意見を募集します！

『養護教諭』の英訳表現について

理 事 会

<社会的な情勢>

わが国の養護教諭およびその養成教育制度は、世界的にみても独自のものであると言われますが、国際化の時代にあっては、諸外国の類似の職種との文化・学術交流をはかっていくことが大切です。昨今は、様々な人が様々な英語表現によって養護教諭を諸外国に紹介するようになりました。

そこで、「養護教諭」という名称を掲げる本学会では、その英名を検討し、国際舞台に発信していくための学会の英語名称を定めることが必要です。

<学会としての協議の経過>

本学会では、郡山で開催した第5回総会（「研究会」から「学会」へ名称変更）において、日本養護教諭教育学会（Japan Educational Society for School Nursing Teacher）と称するという理事会からの提案がなされましたが、種々の議論があり、英名については保留となりました。

その後、学会の英名作成は懸案事項となっています。しかしながら、学会誌創刊号より掲載する論文には英語タイトルを付けていますので、養護教諭に関しては多様な表現が用いられてきました。第3巻までの英語表現は、「school nurse-teacher」「school nurse teacher」「nurse teacher」「school nurse teachers as school health care providers / school health education teachers」「yogo teacher」「yogo-teachers」です。したがって、学会として一日も早く統一した用語を定めるという責任が生じています。

<決定までの手順>

そこで、学会員の皆様の様々な視点からのご意見を募ります。いただきましたご意見は、検討にむけた資料としてまとめ、それをもとにして理事会で原案を考え、総会に提案して協議し、決定していきたいと思えます。なお、ご意見の内容等につきましては、ハーモニー23号（8月発行予定）で報告致します。

今回の検討は、最終的には、日本養護教諭教育学会の英名を定めることがねらいですが、そのためには養護教諭を英語でどのように表現するかが重要です。

よって、ご意見は次のような内容で、6月末日までに、学会事務局宛にお願い致します。

- ① 養護教諭の英名案
- ② ①のように表現する理由および根拠
（できれば、③養護教諭教育学会の英名案）

<ご意見の検討にむけて>

養護教諭の英訳化にむけては、次のような視点での検討が求められるかと思えます。

- 視点1. 「養護」という言葉をどのように表現するか。
- 視点2. 養護教諭の役割や機能をどのように表現するか。
- 視点3. わが国に固有の職種であるということ
を表現するにはどうしたら良いか。

ご参考までに、次のような手順を紹介致します。

- A) 「養護」の表現を辞書等で調べる。
- B) school nurseの“nurse”の意味を考える。
- C) 養護教諭の仕事・機能・特性を英訳する。

皆様のご意見をお待ち致しております。

「学会誌の原稿」募集中

「日本養護教諭教育学会誌」第4巻1号の原稿を募集しています。

養護教諭の養成教育や現職教育に関する実践や調査などを研究論文にまとめて投稿してみませんか？会員が相互に研究成果を交換し合い、それをまた実践で検証し、研究としてまとめ交換し合う、といった積み重ねによって、より質の高い実践を追求していけたらと思っています。

積極的な投稿を期待しています。

1. 投稿資格：本学会の会員（2000年度学会費納入済みの者）に限ります。
2. 原稿の種類：論壇、総説、原著、研究報告、実践報告、資料、その他です。
投稿論文は、他の出版物に既に発表または投稿されていないものに限ります。
3. 募集期間：年間を通して受け付けていますが、第4巻第1号の原稿の最終締め切りは、2000年9月30日です。
4. 投稿方法：B5判横書きで3部（内2部は査読用なので著者名、所属を記載していないもの）作成し、学会事務局に送付してください。原稿枚数や執筆要項等の詳しいことは学会第3巻第1号に掲載の「投稿規定」をご覧ください。
5. 問い合わせ先：ご不明な点がございましたら学会事務局にお問い合わせください。
なお、査読が終了し、受理された論文から掲載しますので、早めに投稿されることをお勧めします。また、受理までに長期間を要する場合は、第5巻以降の掲載になることもありますので念のため申し添えます。

（編集委員長 盛 昭子）



研究助成金申請者の募集

日本養護教諭教育学会では、会則第3条2に定める研究事業の一環として特色ある研究に対して助成を行っています。助成金は現在のところ些少ですが、「会員の研究意欲」を支援し、その研究成果を公表することによって「学会全体の研究活動の活性化」を図るものです。そこで、2001年度の研究助成金申請者の募集を下記の要領で行います。是非、ご応募ください。

応募に際しては、以下の規定を周知のうえ、下記の「記載事項」に基づく研究助成金申請書を学会事務局内、学会理事長宛に6月30日（消印有効）までに送付してください。

【応募方法】

下記の記載事項によって申請書を作成し、封筒の表に「研究助成」と朱書して、学会事務局に郵送する。

【応募資格】

応募者は2000年度学会費を納入している本学会の会員に限る。

【研究期間と助成金】

研究期間は1年を原則とする。但し1年に限り延長することができる。なお、その場合は2年次にも改めて申請をして審査を受けるものとする。これまでの助成金は1件当たり5万円である。

【研究成果の報告】

研究助成金を受けた研究は、その成果を学術集会及び会誌に発表しなければならない。期限は、原則として助成期間終了後1年以内とする。

【研究課題の選考】

助成を行う研究課題は、理事会において審議し、総会で承認を受けて決定する。なお、理事会では、特色ある研究であること、研究目的が明確であることなどを基準として審査する。

「2001年度研究助成金申請書」への記載事項

1. 研究テーマ（新規、継続の別）
2. 予定研究期間（1年、2年の別）

3. 研究者

◇代表者一氏名、所属機関名・住所・Tel./Fax、
自宅住所 Tel./Fax.

◇共同研究者一氏名、所属機関名・住所・Tel./
Fax.

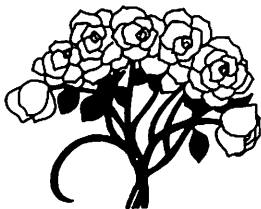
4. 研究計画

「研究の目的」「研究の方法」「研究の独自性」「研究のスケジュール」など

◇なお、この申請書は原則としてワープロで作成し、A4サイズ用紙2枚以内とする。

◇送付先：日本養護教諭教育学会事務局
(住所等は、ハーモニー表紙に掲載)

(研究活動担当 後藤ひとみ)



理事会等の報告

(1999年7月以降)

理事会等の活動は次のとおりです。

☆ 理事会

1. 1999年度 第3回

日 時：1999年9月4日(土)16:10~17:50

場 所：岡山国際交流センター (岡山市)

出席者：理事7名(堀内、石原、中桐、盛、大谷、楠本、下村) 会計監査2名(山口、吉田)

内 容：第7回学術集会準備、会計監査報告、助成を行う研究の選定、第8回総会の運営について

2. 1999年度 第4回

日 時：2000年2月11日(祝日)14:30~16:00

場 所：ルブラ王山 (名古屋市)

出席者：理事7名(堀内、石原、中桐、盛、大谷、楠本、下村)

内 容：学会第I期の活動の総括ほか

3. 第1回新現合同理事会

日 時：2000年2月11日(祝日)16:00~19:00

場 所：ルブラ王山 (名古屋市)

出席者：現理事7名(堀内、石原、中桐、盛、大谷、楠本、下村) 新理事7名(大谷、石原、盛、後藤、楠本、村瀬、下村)

内 容：I期活動報告を受けて意見交換、新理事長選出、第47回日本学校保健学会企画依頼ほか

4. 第2回新現合同理事会

日 時：2000年3月25日(土)10:00~16:00

場 所：ワーピアつるまい (名古屋市)

出席者：第1回新現合同理事会と同じ

内 容：新理事の役割分担、年間活動計画、第47回日本学校保健学会企画依頼、各役割分担にて引継ぎ

5. 2000年度 第1回

日 時：2000年4月16日(日)10:30~14:00

場 所：全電通労働会館 (東京)

出席者：新理事7名(大谷、石原、盛、後藤、楠本、村瀬、下村)

内 容：2000年度事業計画、第47回日本学校保健学会シンポジウムの企画と運営、養護教諭の英文訳についてほか

☆ 編集委員会

1. 1999年度 第3回

日 時：1999年9月4日(土)15:00~15:50

場 所：オルガ (岡山市)

出席者：編集委員10名(堀内、盛、石原、中桐、大谷、楠本、下村、池本、大道、小西)

内 容：日本養護教諭教育学会誌第3巻第1号の編集方針、「ハーモニー」年3回発行計画案、編集委員会の体制ほか

2. 1999年度 第4回

日 時：1999年11月27日(土)19:00~21:00

場 所：ルブラ王山ほか (名古屋市)

出席者：編集委員11名(堀内、盛、石原、中桐、

大谷、楠本、下村、池本、大道、小西、浅利)

内 容：日本養護教諭教育学会誌第3巻第1号の編集ほか

3. 1999年度 第5回

日 時：2000年2月12日(土)10:00～16:00

場 所：名古屋市公会堂(名古屋市)

出席者：編集委員11名(堀内、盛、石原、中桐、大谷、楠本、下村、池本、大道、小西、浅利)

内 容：日本養護教諭教育学会誌第3巻第1号の編集、発行までの予定、次期編集委員会への申し送りほか

4. 2000年度 第1回

日 時：2000年4月16日(日)14:00～16:00

場 所：全電通労働会館(東京)

出席者：編集委員9名(大谷、石原、盛、後藤、楠本、村瀬、下村、中桐、竹田)

内 容：編集委員会の体制、日本養護教諭教育学会誌第4巻第1号の編集方針、「ハーモニー」22号企画案ほか

「ハーモニー」の企画について アイデア募集

本学会は、養護教諭教育の実践や研究に関心を持つ会員によって構成された学術団体であり、学会の発展のためには、会員の皆様の積極的な参加が不可欠です。

そこで、養護教諭の資質・力量向上を願って学会としての活動を一層前進していくために、会員相互の情報交換の場として、「ハーモニー」をもっともっと活用していきたいと思ひます。「ハーモニー」を通じて、学会の活動に対する要望や意見をどんどん寄せていただき、学会の活性化をはかっていきたいと思ひます。

については、2000年度の「ハーモニー」の企画に

あたり、会員の皆様からのアイデアを募集したいと思ひます。多くの方々からのご協力を願ひいたします。

「ハーモニー」担当

岡山大学教育学部 石原 昌江

TEL・FAX 086-251-7702

愛知県立加茂丘高等学校 村瀬 久美

TEL 0565-76-2241

FAX 0565-76-2491

お 知 ら せ

☆事務局が下記の場所に移転しました。住所・所属変更や入退会の連絡などはこちらに願ひします。

新事務局

〒310-8512 水戸市文京2-1-1

茨城大学教育学部 大谷研究室内

TEL & FAX (029) 228-8298

郵便振替口座 00880-8-86414

☆知りあいの方で入会を希望される方がいましたら事務局までご連絡下さい。折り返し、入会申込書をお送りします。

☆学会誌第2巻と第3巻が若干あります。ご希望の方にお分けしますので、事務局までご連絡下さい。1冊2500円です。

編 集 後 記

梅雨入りのニュースが報じられる季節となりました。会員の皆様には、お元気で活躍のことと思ひます。これから、会員の皆様に親しんでいただけの会報づくりをしていきたいと思ひています。慣れない作業で、いたらない点があるかと思ひますが、ご意見・ご感想をお寄せください。最後に、新学期初めの多忙を極める時期に快くご執筆をお引き受けくださいました各会員の方々に心よりお礼申し上げます。(村瀬)